

## 一日市長体験ワークショップ(中学校生徒会) ワークショップ・アンケート結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各STEPに基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

一日市長体験をされた中学校生徒会執行部の皆さんとワークショップを開催しました。今回のワークショップはSTEP1「市の役割の見える化」をテーマに実施しました。

### 1. 開催概要

#### (1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)

日時:令和5年8月17日(木) 14:15~15:40

場所:美濃加茂市役所 第2議会委員会室

参加者(事務局を除く):西中生徒会生徒6人(うちピースフォーラム参加2人)

東中生徒会生徒6人(うちピースフォーラム参加2人)

#### (2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. ワorkshopガイダンス
4. グループワーク  
お題:市民が考える「10年後の市の役割」
5. 質疑応答
6. おわりに

#### (3)事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課

## 2. 結果の概要

### (1) 全体の傾向

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割(第6次総合計画)について情報提供を行い、「市の役割」について考えていただきました。

全体の傾向として、「人と人を繋ぐ」や「多文化共生」を支える存在であることを市に求める傾向がありました。また、市は市役所だけでなく、市民を含めた「みんなで作る」と認識しているという意見が多くあり、問題を解決するためにも相互理解をすることや繋がりをつくることが求められていました。

また、市が繋げる「人」のイメージとして、普段の生活では関わりあうことが難しい、「若者と高齢者」や「障がいのある人とない人」、「学生と地元の社会人」等、立場や文化の異なる人をイメージした意見が多くありました。

事後アンケートでは市の事業をさらに知りたいと答える参加者が複数おり、学生に市政について興味を持っていただくことができたと思います。また、新庁舎整備に関する情報を家族から得た参加者が多く、学生への周知の方法として家庭内で話題にして頂く重要性が改めて感じられました。

### (2) ワークショップ結果の概要

#### ① 中学生の考える市の役割について

以下、中学生からのご意見。

カテゴリー	中学生の意見	理由
人と人を繋ぐ	市民同士の関わりを深める	たくさんの方が市にいますので、市の運営を通して、その関わりを深めていくことが市の役割だと思った。
	人と人を繋ぐ (子育て/ダイバーシティ/産業振興)	ダイバーシティを目指そうとしても、市民が1歩踏み出すことを支えてもらえないと行動に移そうと思うのが難しいと思うので、その一歩を支えてくれることが市の役割だと思った。
	人と人が関わる機会をつくる	色々な個性を持っている人と関わる機会があるし、子育てでも保育園に預けたり、いろいろな人の関わりがあるから。
	人と人をつないでいく	生徒会として学校を引っ張っているが、市役所の仕事はそれよりももっと規模が大きなものだと思うので、市民や企業の間をつなぐ懸け橋のような存在にならないといけないのではないかと思った。
	人と人をつなぐ、みんなを支える	子育てで困ったときに教えてもらえるような存在
	人と人をつなげたり助ける	人が市をつくっていくので、その人たちを助けたり、人と人のつながりをつくっていくことが市の役割だと思った。
	市民同士の関わりを深める	たくさんの方が市にいますので、市の運営を通して、その関わりを深めていくことが市の役割だと思った。
	市民を支援する	美濃加茂市の主役は市民ひとりひとりだと思うので、その主役をサポートすることが市の大きな役割の一つであると思う。人と人をつなげることも含めて支援することが市の役割だと思った。
多文化共生	多文化共生	自分や家族が外国人で、日本との文化の違いで過ごしにくいと感じた経験があるので、10年後の未来では美濃加茂市に住む外国人も住みやすいような市にしたい。
	多文化共生	外国人の方が多く美濃加茂市だからこそ、外国人の方も含めて、みんなで作る

	多文化共生	美濃加茂市には外国籍の方が多くいることや、その人たちと一緒に生活をしていることを他の市民も理解していかないといけないと思う。
	ダイバーシティ	外国人の方が日本にきてカルチャーショックを抱えることもあると思うが、日本人側は理解をする必要があるし、外国人側も努力をする必要があると思うので、多様性を認め合っていくことが大事だと思った。
	市民を支える	日本国籍ではないひとにも過ごしやすいように支え、若者が活躍できる社会になるよう支えることが市の役割だと思った。
女性、若者の支援	女性、若者の活躍	女性・若者、特に若者の活躍を広げたい。その計画にある、「女性や若者が夢を叶えられるまち」ということがすごく良いことだと思った。今、市を支えている世代と若者で意見のすれ違いが起きないように、市が進めていきたいこと等を次の世代にも広めていくことが大事だと思った。
子育て	子育てと働く	姉に子供が生まれて1歳になるが、実家の近くに家を建てて、母に子どもを預けて働いている。もし、住みたいところが実家から遠いと働くことも難しくなって、貯金も貯まらなく大変だと思う。住みたいまちに住んで、市が子育てをサポートしてくれる、どんな人でも働くことができる世の中になればいいなと思う。
	子育て	母が保育士で、たまに母が働く保育園に行って子供をみる機会があるが、子供を育てることは大変で、色々な人が助け合っていかなければ子育てはできないと思う。人と人がもっと気軽に関わりあって助け合えるといいなと思った。
産業振興	産業振興	10年後には産業も発達して、自分たちが美濃加茂市を誇れるまちになったらいいなと思った
市民協働	地域再生 みんなのまちを、みんなで作る	みんなの美濃加茂市をみんなで作っていくという意識をつくっていくことが大事だと思う。
	みんなを一つにする(まとめる)	市の問題を解決していくためには、市職員の皆さんだけではなく、年齢や文化関係なく、市民全員がひとつになっていく必要があると思うので、市民同士が交流をして関わりを広げていけるようサポートすることが市の役割だと思った。
	みんなで作る	10年後の未来も美濃加茂市に住んでいくために、美濃加茂市民の一員として美濃加茂市をこれからも守って、再生可能な社会を目指していく。自分たちで復興して、もっと住みやすい町にしていきたい。
支援	市民の願いをくみとる	何をサポートすればいいのかわかるために、市民が何をしたいかを市が知り、願いをくみ取ることも市の役割だと思った。
	支援する、サポートする、守る	若者や子育て、産業復興を考えたときにお金や環境が必要であると思うので、サポートしてくれることが市の役割だと思った。また、そういった支援を通して市を守っていくことも市の役割だと思った。

## ②市の役割を「人と人を繋ぐこと」と共通認識した理由

意見交換をする中で、「人と人を繋ぐこと」を市の役割としてあげた人が多かったが、なぜ「人と人を繋ぐこと」が多く意見に上がったか考えていただきました。

以下、中学生からのご意見。

- ・市の役割をイメージする中で、みんなの意識の中に共通して、人をつなぐことが根底にあったので、みんなの意見があっていったと思う。
- ・問題を解決するためには誰かが動かないといけないと思うので、市がまず動いてもらえると市民も動きやすくなって、みんなで解決しようと思えるのではないかなと思う
- ・目指したい姿や目標というのはみんな違うかもしれないが、それを達成するための手段として「人と人の繋がり」が共通しているのだと思う
- ・人は誰かと一緒ではないと生きていけないので、人とのつながりが大事だという話になったと思う。
- ・知らない人と関わるには市を介してではないと難しいと思う。色々な人がいるからこそ、つながりを持つために市を頼りたい。
- ・市のあるべき姿をどう実現するかを考えると、人と人が繋がる必要があると思う
- ・何かを協力してやるにあたり、市の中心にある市役所が、人と人をつなぐところになるのかなと思った。

## (3)市が繋ぐべき「人」はどのような人か

人と人を繋ぐ仕組みは家族や地域、学校等にもあるが、市が繋ぐべき「人」はどのような人が考えていただきました。

以下、中学生からのご意見。

「人」のイメージ	理由
こどもとこども	こどもはひとりではできないことが多いので、それを大人が支えていって、そのこどもが大人になった時に次のこどもを支えていくような繋がりを実現できたらよいと思う。
文化が違う人	
若者と高齢者	若者と高齢者ではやりたいこと考えていることがひとつひとつ違うので、それぞれの良さを認め合って高めあえると良い
違いのある人	関わりはないけど美濃加茂市に住んでいるという共通点がある
自分自身と自分自身が知らない人	出会いのチャンスを作るのが市の役割だと思う。
市民と行政を繋ぐ	市民と行政が意見を言い合えるような場があるといいと思った
学生と地元の社会人	地元の社会人と学生が関わることで、将来を考えたり地元で活躍できるような人になれる
子育てする人同士	初めてでわからないことがあると思うが、子育ての先輩に話を聞いたり相談に乗ってもらえることができる
障がいのある人とない人	兄が障がいを持っているが、一般的な学校に通っていなかったり、障がいを持っていない人と関わる機会が少ないので、関わる機会があるといい
自分と立場が違う人	
普段あまり関わらない人	今日も普段関わりのない2つの中学校の執行部が関わられた良い機会だった。
同じ世代同士	同じ世代でも価値観や違うところがある。

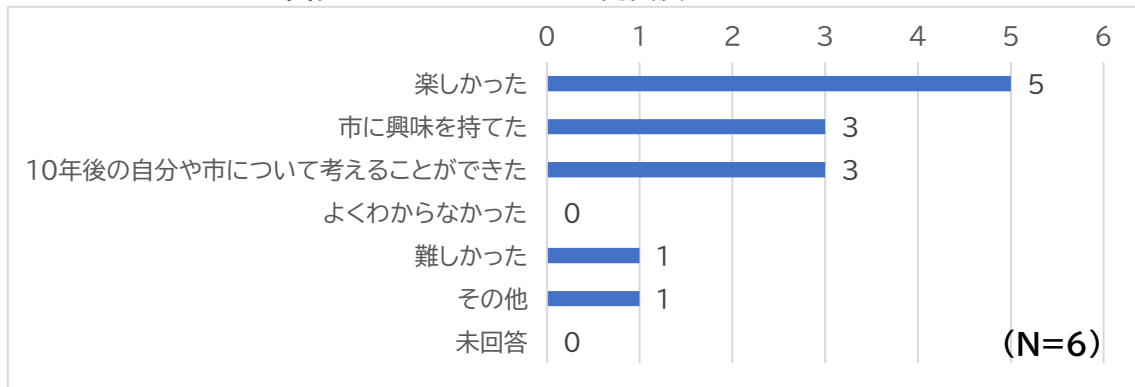
(4)アンケート結果の概要 ※回答者数 6名

問1. 本日のワークショップはいかかでしたか？(複数回答)

「楽しかった」が最も多く、次いで「市に興味を持てた」、「10年後の自分や市について考えることができた」が続いた。また、その他の意見として、「藤井市長の考えを学ぶことが出来た」があった。

	回答者数【N=6】
楽しかった	5
市に興味を持てた	3
10年後の自分や市について考えることができた	3
よくわからなかった	0
難しかった	1
その他	1
未回答	0
合計	13

図表 1. ワークショップの充実度について



※複数回答有

◇自由意見

- 藤井市長の考えを学ぶことが出来た

問2. 大切だと思う「市の役割」を1～3位まで教えてください。

「人と人を繋ぐこと」が最も多く、繋がりをもつことで相互理解を深めることを大切だと思う参加者が多かった。また、地域活性化に向けて、市民と共に考えていくこと・一人一人が活躍できるようサポートする役割の重要性についても多く意見が挙がった。

【第1位】

人と人を繋ぐこと	全ての政策の原点はここにあるかなと思った。市にしかできない役割でもあるから。
地域再生	色々な市の目標を達成するためには、市民全員が1つになって取り組んでいく必要があるから。
災害時の動き	災害がおこった時、市の動き、声かけによって市民の行動が変わってくるため、市は柱なのかなと感じたため。
女性・若者の活躍	他の人の発言を聞いて、一人一人が活躍できるようにサポートするためだと思ったから。
市民を守る	経済発展とかももちろん大切だけど、1番は市民の命だと思ったから。
地域再生	もっと美濃加茂市をよくしてほしい。と思ったから。

【第2位】

人と人を繋ぐ	大人と子ども、市と市民、高齢者と若者、外国籍の人々との繋がりを作り住みやすい町にしていく市は必要だと思ったため。
市民の願いをくみとること	「こうしてほしい」があってこそその市だと思ったから。その願いを支えたり、サポートすることにつながるから。
女性若者活躍	子育てや、子どもの教育が活性化するまちづくりができるとみんなから愛され、みんなが活躍する市になると思ったから。
あまり関わらない人達をつなげる	交流する場を作ることで、頼れる人ができるし、住みやすくなると思ったから。

【第3位】

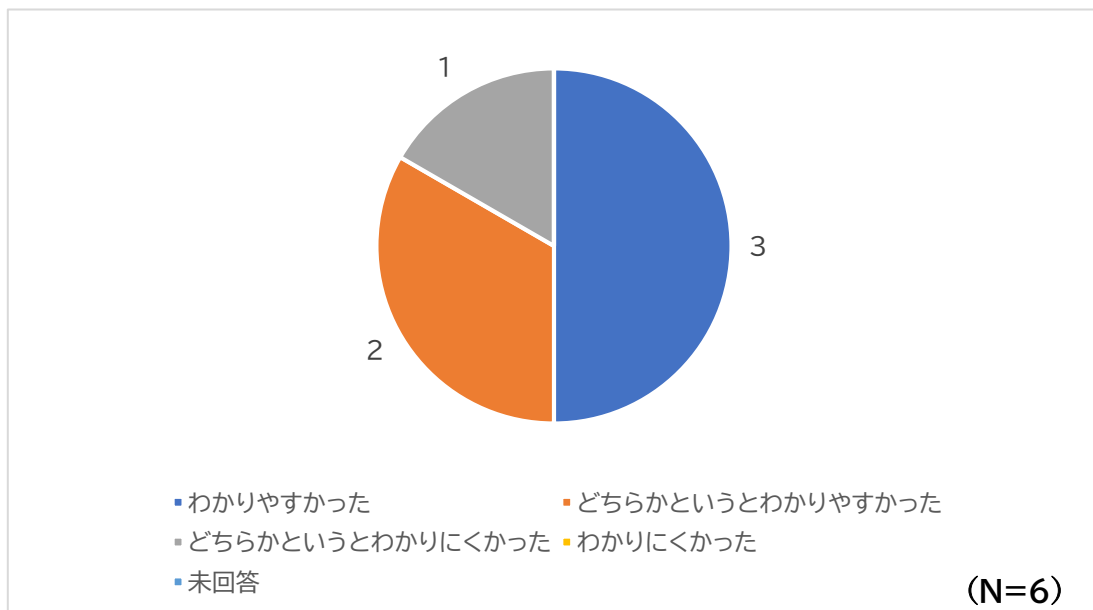
人への支援・サポート	困っている人と解決させられる人を引き合わせたり、その役割を担ってほしいから。
市の地域活性化に向けて	美濃加茂市が住みやすく、笑顔溢れる市にしていくために、市の動きと課題を踏まえたとうえで何をすればどんな美濃加茂市が生まれるのか市民と共に考えることができる市は大切だと思ったため。
多文化共生	文化が違う人同士でぶつかりあってしまっても住みにくくならないようにするためだと思ったから。
人づくり	藤井市長の言葉に感動したから。

問3. 本日のワークショップの説明はいかかでしたか？

「わかりやすかった」という意見が最も多く、次いで「どちらかというわかりやすかった」という意見が多かった。また、さらに知りたいこととして、美濃加茂市が普段行っている業務の詳細やファシリテートの方法について知りたいという意見があった。

	回答者数【N=6】
わかりやすかった	3
どちらかというわかりやすかった	2
どちらかというわかりにくかった	1
わかりにくかった	0
未回答	0
合計	6

図表 2. ワークショップについて



○わかりにくい、さらに知りたいと思った内容がありましたら教えてください。(自由記入)

◇自由意見

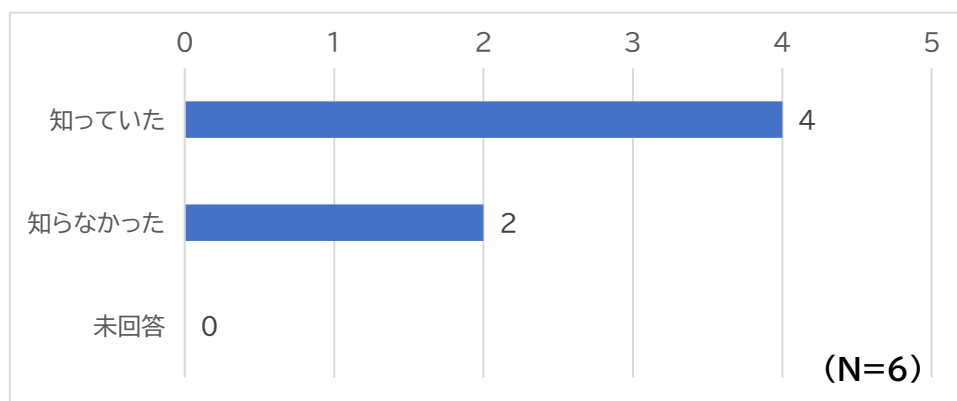
- 現状、市が行ってきた業務や理念について知りたいです。
- テーマなどが少し難しかった。でも、熱心に取り組んで、美濃加茂市についてよく知れたし、少しはこれからの美濃加茂市に関われたので嬉しかったです。だから、この先の美濃加茂市についてもっと知りたいと思いました。
- 普段の会議で美濃加茂市のどのような事を決めているのか、どんなことを軸にして話し合っているのか、より深く知りたいなと思いました！！交流している時に自分の意見がとても言いやすく、どのように話しやすい雰囲気を作られているのか学びたいと思いました。

問4. 美濃加茂市が新庁舎整備を検討していることを知っていましたか？

半数以上が「知っていた」と回答した。また、情報の入手方法は「家族からの紹介」が最も多く、次いで「広報」、「美濃加茂市 SNS」が続いた。家庭内で情報が共有されていることから、親や祖父母等へ周知を行うことで中学生にも情報を得てもらえることが分かった。

	回答者数【N=6】
知っていた	4
知らなかった	2
未回答	0
合計	6

図表 3. 新庁舎整備の認知について

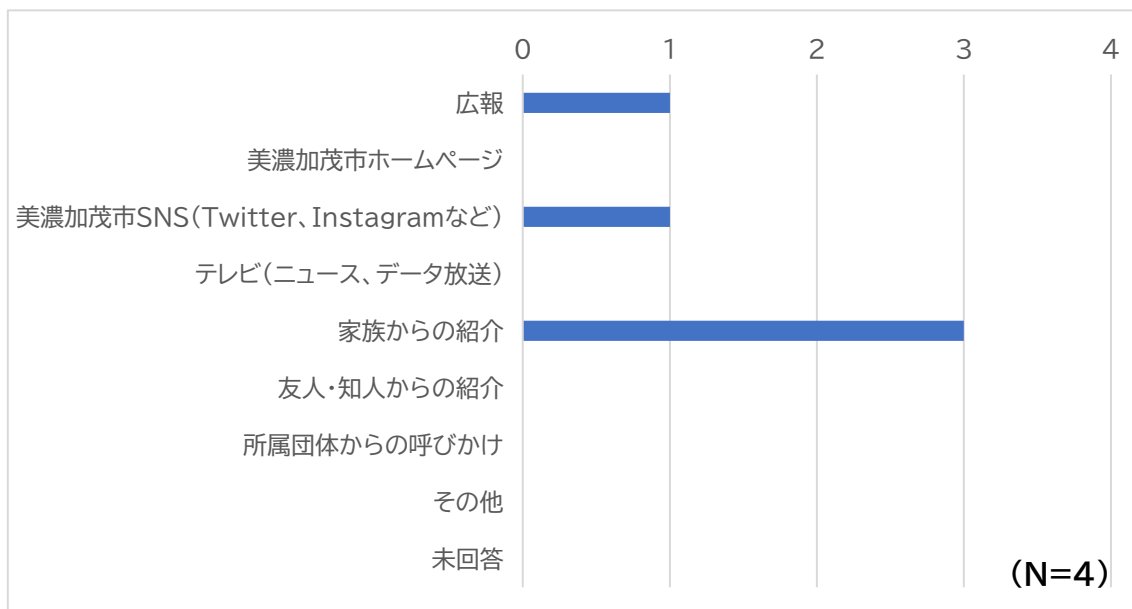




○「知っていた」を選んだ方は新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか？(複数回答)

	回答者数【N=4】
広報	1
美濃加茂市ホームページ	0
美濃加茂市 SNS(Twitter、Instagram など)	1
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	3
友人・知人からの紹介	0
所属団体からの呼びかけ	0
その他	0
合計	5

図表 4. 新庁舎整備に関する情報の入手方法



※複数回答有